2022年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 蒲郡商工会議所

± # 7	本米原本(北日 口46)	本类内 体	主たる									事 業 評 価												
事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	対象者									得られた効果				ABC	D評価	ī		4	後の展開・改		備考	
	地域内事業者の大多数を占め、本市 商工業の基盤をなす小規模事業者の 経営基盤の安定・強化を図るため、 計画的に小規模事業者に対し、各種	(1)巡回窓口指導実企業数: 394件 (2)巡回窓口指導延件数: 911件 (3)課題解決提案件数: 49件 (4)経営革新計画承認件数: 2件		指標	巡回窓 (達成度		延件数%)	指標	課題角	¥決提到 122.5		今年度は新型コロナウイル スの影響を乗り越えるため の経営計画の策定支援、各	総		事実	自己評価	調事	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②現行どおり	条種支援施策の的 を種立接施を支援機 を支援を支援機 を大規模 事業有けた。 の策取り の策取り の策取り の策取り の策取り の策取り の策取り ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、		
巡回・窓口	前皿的に小規模事業者に対し、各種施策を周知・説明し、積極的に活用できるよう支援することを主目的に	(4) 在呂里初前回承認什奴: 2件	小規模事業者									■種支援施策の活用促進を行 うことができた。	合評	^	業施評側	目標達成度	査 業者	必要性		実施方法①	実施方法②	に向けた経営計画		
相談指導事業	巡回・窓口相談指導を実施する。			目標 数値	760	実績 数値	911	目標 数値	40	実績 数値	49		価		価の	Α	型への	А		現行どおり	現行どおり			
	地域内事業者の大多数を占める小規 模事業者の経営基盤の安定・強化を 図るため、小規模事業者が抱える経			指標	ß	開催回勢	数	指標				多数の小規模事業者に対 し、経済問題あるいは専門				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者の参 加を増加させるた		
	営上の問題点に対応する実務的な講	人)		711 1131	(達成度	130. 2	%)	7 17.1	(達成度		%)	分野・業種別問題等、広い 知識の普及啓発と特定の知	総		事実	Α	調事	Α		現行どおり		めセミナーカリ キュラムの充実を		
講習会事業	談会も開催する。	22回・労働4回・情報化2回 合計40 回(延べ指導者数314人、内小規模	小規模事業者									識・技術の習得を支援する ことが出来た。	合評	Α	業施評側	目標達成度	査者	必要性		実施方法①	実施方法②	企業の販路拡大を		
		事業者数166人)		目標 数値	63	実績 数値	82	目標 数値		実績 数値			価		価の	Α	果の	Α		現行どおり		重点にセミナーを		
	る支援事業として、記帳継続指導を			指標	指導対象	小規模	事業者数	指標		1 1		記帳指導員による記帳指導 を通じて、商売上の計数知				自己評価	-	満足度	補足	目標①	目標②	② 今後とも記帳指導 を希望する小規模 事業者に対し継続		
=7.4E.45.35 == 45	実施する。また小規模事業者への日常の記帳事務の軽減のため記帳機械	①記帳継続指導 指導対象者数12		1日1示	(達成度	100.0	%)	扣标	(達成度	:	%)	識修得とともに、税務関連 の基礎知識修得ができた。	総合		事実業施	Α	調業者	Α		現行どおり	「様」			
記帳指導事業	化指導を実施する。	事業所 ②記帳機械化指導 指導対象者数14 事業所 指導延日数150日 指導延	小規模事業者	目標		実績		目標		実績			評価		評側価の	目標達成度	一結果	必要性		実施方法①				
		回数162回		数値	14	数值	14	数值 数值		ш		IШ 07	Α	^ の	А		現行どおり		1					
若手後継者等 育成事業	次代を担う経営者の人格研鑽と経営 能力の向上を図ると共に、地域社会 の健全な発展を図る商工会議所活動	(1) 例会等の開催 合計10回 ・地域振興イベント参加者数 78名 ・研修会等参加者数 37名		4F. 4m	地域振興へ	(ベン	ト参加者数		研修会	会等参加	加者数	異業種の若手後継者等が企 画する広範な事業活動を通				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	目標(2) 継者の育成に繋が る事業に取り組		
	に寄与し、併せて会員相互の啓発親 睦を図ることを目的として蒲郡商工	(2)会員総会、連合会活動(愛知県 連、東海ブロック、日本YEG)への	小担拱市業名	指標	(達成度	111.4	%)	指標	(達成度	92. 5	%)	じて、次代の若手経営者育 成に繋がった。	総合		事実業施	Α	調 事業 査	Α		現行どおり	実施方法②			
	の支えとなる若手後継者の育成及び	会、その他会議・総会等へ参加。 (3)若手後継者等育成事業	小規模事業者	目標	70	実績	78	目標	40	実績	37		評価		評側 価の	目標達成度	結果の	必要性		実施方法①	実施方法②	を事業すの小人継続 ・		
	組織化を図る。	・経営者資質向上対策事業 4回		数值	70	数值	76	数値	40	数值	37					Α		Α		現行どおり				
	地域の経済動向調査、経営状況の分析、需要動向調査を踏まえて、事業 計画の策定支援を行う。併せて必要 に応じ当所専門指導員等と連携し指	(1) 経済動向調査の実施及び活用 ・調査対象企業数: 143件 (2) 経営状況分析の実施 ・経営状況分析件数: 52件		指標	事業計画	策定	支援件数	指標				小規模事業者が売上利益を 確保するため需要に基づい た計画による経営が不完ま				自己評価		満足度	補足	目標①	ボストコロナ操で の販路拡大、業態 転換など断た大、業態 転換など新たる。 経営指導員へ 私立支援 スキルの支援 2 実施方法② 実施方法② 家活場の向上を図	の販路拡大、業態 転換など新たな事		
	導・助言を行う。また事業計画の着 実な実行を支援するため事業計画の	(3) 事業計画策定支援 ①事業計画作成セミナーの開催:参 加者5名		111/100	(達成度	100.0	%)	10 100	(達成度		%)	である。事業計画の策定支援・実施支援により経営力 向上に寄与することができ	総		# #	Α	事	Α		上げる		談が見込まれる。 経営指導員の支援		
ビジナビ 経営サポート事業	実施支援を行うことにより小規模事業者のビジネスモデルの再構築、経営カ向上、販売促進を図る。	②ビジナビ経営相談の開催 ・相談件数:118名(内、小規模事業者91件) ・事業計画策定支援件数:52事業	小規模事業者									-tc.	合評価	А	尹業評側の	目標達成度	調査結果	必要性		実施方法①		0		
		所 (4) 策定後の実施支援 ・フォローアップ延回数:181回		目標 数値	52	実績 数値	52	目標 数値		実績 数値						А	0)	Α		現行どおり		支援力の向上を図		
	を強化し、地域産業の新たな担い手 の創出・育成を目指すと共に、新た			指標	Ê	削業件	数	指標	コワー ³ 利用	Fングス 実登録		創業・新事業展開サポート 事業を行うことによって、 創業者等を表表することが				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	業・新事業展開サ ポート事業を行		
創業・新事業展開	業同士の情報交換・共有、人脈形成	(3) 創業倶楽部の運営 (4) 専門家個 別相談の実施 参加者数:6名 (5) 創業融資斡旋件数:23件 補助金活 用支援:70件 (6) 37-キングスペースの	小风快事本	161%	(達成度	186. 7	%)	16175	(達成度	326.7	%)	でき、創業や新事業展開の促進を図ることができた。	総合	Δ	事実業施	Α	調査事業者	А		現行どおり	現行どおり	い、創業や新事業 展開の促進を図 る。	0	
サポート事業	NCAE 7 '00'0	加支援: ハード (3737) インストルン (2737) インストルルン (2737) インストルル (2737) インストルル (2737) インストルルン (2737) インストルル (2737) インストルルル (2737) インストルル (2737)	者・創業者	目標	15	実績	28	目標	15	実績	49		評価		評側価の	目標達成度	結果の	必要性		実施方法①	実施方法②			
		剧来什效:28件		数值	10	数値	20	数值	数值		40					Α		А		現行どおり	現行どおり	おり		
	中小・小規模企業事業主・従業員に対する福利厚生の充実を図ることにより、完全により、	(1) 労働保険事務組合の運営及び未 手続事業所加入勧奨 委託事業場数:227事業場		+15.13#	労働保険新規加入 事業場数			415:13F				小規模事業者の労働保険への加入及び福利厚生制度の				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	次年度も小規模企 業者・従業員等の		
运到原火大模束 类	より、安定した企業経営の確立をすることを目的に、労働保険未加入事業所に対する加入勧奨、事務代行の	新規委託事業場数:13件 (2)事業主及び従業員のための各種	小担供事業者	指標	(達成度			指標	(達成度		%)	充実により、安定した企業 経営の確立が可能となっ	総合		事実業施	А	調 事業 査	А		現行どおり		福利厚生の充実を 図るため継続して 事業を実施。		
福利厚生支援事業	加入を促進させる。また、新型コロナワクチンの職域接種を実施し、従	共済制度・福祉制度への加入を促進 ・BWC福祉共済キャンペーンの実施 (Part1:5月~6月、Part2:10月~	小規模事業者	目標	12	実績	13	目標		実績		1/	評価	А	評側価の	目標達成度	結果	必要性		実施方法①	実施方法②	サ木と大肥。		
	業員の健康維持に資する。	11月)		数值	12	数值	13	数值		数值						Α		Α		現行どおり				

2022年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 蒲郡商工会議所

事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる									事	業	评位	6								
		対象者		目	標①			目	標②		得られた効果	<u> </u>			ABC	D評価	i		4	後の展開・改		備考
ている「売上高の伸長」「新規顧客 の開拓」に対し、新たな販路を開拓 することを商談会・展示会への出 展・イベントへの参加等を通して支	補助金申請数 50件 (2)新商品開発・販路拡大事業の実施 参加事業所数 12事業所		指標	補助金	金申請作	件数	指標				各種補助金活用、商談会展 示会出展等を支援し、参加 した小規模事業者の販路開				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	引き続き小規模事 業者の販路開拓支 援を行う。	
の課題解決を促進させるとともに、	出品店舗件数 60件			(连队及	125.0 9	%0 <i>)</i>		(连队及	183.3	%0)	te.	2/2		車車	А	事	А		現行とあり	£17 ©		
る。	取引見込件数 22件 (5) 商品・サービスプロモーション 支援 ・プレスリリース活用支援 26件	小規模事業者										合評価	Α	学業評価の	目標達成度	調査結果の	必要性		実施方法①	実施方法②	_	0
	(小規模15件) ・ビジネスポータルサイト活用支 援		目標 数値		実績 数値	50	目標 数値	12	実績 数値	22					Α		Α		現行どおり	現行どおり		
生等への就職活動支援並びに地元企 業の人材確保のため、大学生等に対	・登録企業数 (13社) ・合同企業説明会開催(4回)		† 上 振				+⊵ +∞		1 1		企業の採用活動を支援する ことができた。またセミ ナー等を通じて事業主・従				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	②	
ともに合同企業説明会を開催し、大 学生等と地元企業とのマッチングを 支援する。	(3回) (2)人材育成セミナー事業…開催回 数88回 Web		田1宗	(達成度	43.3 9	%)	7日1宗			%)	業員のスキルアップに寄与することができ、企業の経 」営力・成長力向上を図るこ	総		事実	В	調事	В		現行どおり	実施方法② 現行どおり 目標② リ 実施方法② 目標② リ 目標② リ 目標② リ 目標② リ 目標② リ には、		
業者が単独で実施が難しい各種の階 層別、階級別人材育成セミナーを実		小規模事業者	口抽	,	中体		日抽		中体		とかぐさた。	合評価	В	業施 評側 価の	目標達成度	査結果の	必要性		実施方法①	実施方法②	<i>හ</i> ත ං	
アップ支援を行う。			数値	30	数値	13	数値		数値						С		В		現行どおり			
産業振興策として、働く人の健康づ くりを推進すると共に、癒し・アン チエイジング・健康に関わるサービ ス事業者の事業展開を推進すること	セミナー等の開催 ・健康経営優良法人2022認定取得セ ミナー (9/29) ・女性の健康づくりセミナー」		指標	プロジェク	卜参画	事業者数	指標				ヘルスケア産業の創出に向け、働く人の健康づくりの 推進、アンチェイジング サービスの事業化促進を引 き続き推進する。				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	創出に向け、働く 人の健康づくりの 推進、アンチエイ	
業化を目指す。	②協会けんぼ愛知支部、蒲郡市と連携した健康宣言の勧奨 ③健康経営優良法人2022認定申請の サポート 市内認定企業38社			(達成度	118.3 9	%)		(達成度		%)		総		事実	А	調事	А		現行どおり	目標① 目標② 現行どおり	事業化促進を引き	
	作成・配布 (2) アンチエイジングサービス事業 化の促進 ・ラグーナ蒲郡ノルディックウォー	小規模事業者										合評価	Α	業施 評側 価の	目標達成度	査結果	必要性		実施方法①		_	0
	・健康DESIGN FES. 2023 (3/12)		目標 数値		実績 数値	71	目標 数値		実績 数値						Α		Α		現行どおり			
致」等を通じて、蒲郡の様々な魅力 を広く国内外へ発信する体制を整備 し、観光交流人口の増加と地域の活	として開発した「ガマゴリうどん」 のイベント出展 (4回) 、認定店制 度 (15店舗) ・お土産商品 (2社)		七冊	メディ	ア掲載	述回数	七冊		1 1		①メディアを通した情報発信②地域を訴求する商品展開③地域を発信する仕組み、担い手育て				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	継続的な地域の魅 力発信に取り組	
	(2) ロケ誘致分野:「蒲郡ロケー ションサービス」を核として、ロケ 支援を展開。 他、蒲郡にロケ誘致した映画等を一		111778	(達成度	165.0 9	%)	11178	(達成度		%)					Α		Α		現行どおり			
,	開催。 (3) ベンチアートプロジェクト: インスタレーションとしてベンチ	小規模事業者										総合証	Α	事実業施証例	目標達成度	調査結	必要性		実施方法①	実施方法②		0
	豊かな時間を過ごせる場を創る「蒲 郡ベンチアートプロジェクト」を推 進。本年度は第2号、第3号を竹島園		目標数値	60	実績数値	99	目標数値	価 価の 価の	型果への	А		現行どおり										
	まで、	多くの小規模事業者が経営課題としている「充上高の仲長」「新規酬客の開拓」に対し、大な設督を開始、	多くの小規模事業者が経営課題としている「発上高の伸長」「新規顧客の開拓」に対し、新たな服務を関比ない。	多くの小規模事業者が経営課題としている「売上高の伸長」「新規語を開発・販路拡大事業の実施」「新規語を開発・販路拡大事業の実施・展示会への出展・イベントの参加等を追して支援を行うことにより、小規模事業者の持続化及び発展を図る。	多くの小規模事業者が経営課題としている。「非治職等の特別、「新知機等を開拓、「おし、新たな販告を開拓、「大力、大力を関係を開拓、「大力、大力を関係を開拓、「大力、大力、大力を関係を開拓、「大力、大力、大力、大力、大力、大力、大力、大力、大力、大力、大力、大力、大力、大	多くの小規模事業者が経営課題としている。 「非規職等		大・ス・アー・アリン・ ・	1	3 くの小規模事業者が経営課題とし、 10 展別開拓等補助金活用支援 対象の単元 1 展別の単独技 5 の	3 くのの規模事業者が経営課題としている。	1	# 20 の小組を受けるで記した。	1	# 20 (19 元年)	# 1 日 報告 日 報 日 報告 日 報 日 報告 日 報 日 報告 日 報 日 報告 日 報 日 報 日 報告 日 報 日 報	### 13 日報3	1	1 後元 1 日本 1 日本	1 日本 1 日本	大田の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	1 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日

2022年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 蒲郡商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる									事	業	平 佃	Б								
尹未有	尹未恢安 (月京・日町)	尹未天祺	対象者	目 標①					目	標②		得られた効果				ABC	D評価	ī		今後の展開・		善点等	備考
	地域における展示会開催や国内外展 示会出展により、定地の広報宣伝及 び産地企業の相互交流を図り、地場 産業である繊維・ローブ産業の活性 化を目指す。	①三河産地総合展示会「テックスビジョン2022ミカワ」を開催		指標	出風	展示会・商談会 出展事業者数 指標 (達成度 110.0 %)		展示会・商談会取引見込件数指標 (達成度 66.7 %)			牛数	テックスビジュン2022 ミカ ワの関催をび通じてタルサ河産 地の広・またこの展示会に きたに、展示会に きたは、大変を通じてる きたは、大変を通りたの 後、対象の が表する。 は、大変を通りたの を出展への を出展への を対象で 規取引先の 後得に 資すること	総		事実	自己評価 A	調事	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②現行どおり	三河産地のPRと共 に繊維関連事業者 の販路開拓を促進 する。	
地場産業活性化事 業		(2) ミカワ・テキスタイル・ネット ワーク事業:ポータルサイト「夢機 人)の運営。 (3) 三河繊維産業商品開発研究事業:テキスタイル開発指導、トレン ドセミナー開催	小規模事業者	目標	30	実績	33	目標	150	実績	100	とができた。	合評価	Α	業評価の	施 査者 側 目標達成度 結へ 必要性 実	実施方法①	実施方法②		0			
		T C C / J J J J L L L L L L L L L L L L L L L		数値		数値		数值		数値						В		A		現行どおり 現行ど	現行どおり		
	AI・IoT等の最新動向・技術を調査	催。 (1) カーボンニュートラルセミナー		指標	課題解	邓 决支护	爰件数	指標				ものづくり企業等に関わる 最新動向について、セミ ナーや視察、専門家派遣に よる課題解決を行い、産業				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	ものづくり産業等 の産業振興に向け て、引き続きセミ ナーや視察、専門	
0.	δ .	参加者:19名 (2)「現場班長等の技術講座」の開催 参加者:41名 (3)専門家派遣による課題解決支援			(達成度	90.0	%)		(達成度	. '	%)	振興を図ることができた。	総		事実	Α	_田 事	А		現行どおり	実施方法②	家派遣を実施する。	
オープン・イノ ベーション促進事 業		相談件数:9件 (4)企業見学会の開催 参加者:13 名 (5)視察研修会の開催 参加者:17	小規模事業者										合評価		業評価の	目標達成度	調査結果 業者への	必要性		実施方法①		-	
		名 (6)「ものづくり博2022 in東三河」 出展者:60社		目標 数値	10	実績 数値	9	目標 数値		実績 数値						В		Α		現行どおり			
	・部会委員会事業:部会・委員会の 開催により事業者等のニーズを把握 し、所属部会等毎の事業活動によ			指標	開	開催回数	数	指標		1 1		部会開催に加え、部会におけるアンケート調査を実施				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	業界の課題解決に つながる事業活動	
部会委員会事業	り、事業所の経営基盤強化・安定を 図る。 ・振興委員連絡会議:地区内の商工	・部会・部会役員会:21回 ・部会業界の課題等調査:7回 ・部会セミナー視察等:9回	小規模事業者	扣係	(達成度	175.0	%)	扫标	(達成度		%)	し、中小企業・小規模企業 の課題把握及び業種別の業 、況の収集に努め、経営基盤	総合評	Α	事実業施評側	Α	事業者	А		現行どおり		の実施に加え、よ り一層の事業者 ニーズの把握に努	
	業の振興と、経改事業の普及を図る。	・委員会: 4回 ・振興委員連絡会議: 1回 計42回		目標 数値	24	実績 数値	42	目標数値		実績 数値		強化・安定等を図る指針となった。	価		価の	目標達成度	相への	必要性		実施方法①	実施方法②	める。	
	・蒲郡青色申告会関係事業:蒲郡青 色申告会運営活動を通じ、地域内の				青色申告会個別相談会利用			:+ △	説明会	. 141 CD 477	地域の小規模事業者等が税				A		A # C #	++ -	現行どおり		小規模事業者に対	\vdash	
	一・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	告に関する個別相談会・研修会等の 実施。		指標	/± + +	率	0.()	指標				制改正に適切に対応し、適正な申告納税が実現できるとともに、抗務経理知識の				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	して、税務会計知 識の向上に繋がる 事業を積極的に実	
税務関係団体	経営の改善・発達を図る。 ・法人会関係事業:一般社団法人東 三河法人会蒲郡支部の運営活動を通	(2)法人会関係事業・決算期別説明	小規模事業者		(達成度	90.0	%)	-	(達成度	ξ ti2. I '	%)	普及・向上を図ることがで _ きた。 _	総合	В	事実業施	В	調査は	В		現行どおり		施する。 -	
指導事業	じ、法人小規模事業者に対して税務 会計知識の向上及び適正納税の確立 を図るとともに、企業経営の合理化	催、税務、労働、経理、経営面の知 識習得のための参考資料配布		目標	23. 0	実績	20. 7	目標	5. 8	実績	3. 6		評価		評側価の	目標達成度	結果の	必要性		実施方法①	実施方法②		
	と企業の健全なる発展に寄与する。	法人会説明会利用率3.6%		数值	23. 0	数値	20. 1	数値	J. 0	数値	3. 0					В		В		現行どおり			